

商 況

●鐵取引談

報知子と大阪津田商店支配人西岡氏との談話の一節

内地の製鐵業が漸次進歩して來たのは誠に喜ばしい次第です、幾多の難關を重ねた枝光製鐵所の擴張の如きも最早實現されて、其の製品の一部はポツ／＼市場に現はれて來ましたと前提して、

同所の擴張能力は一ヶ年九萬噸位ださうであるから、(第二期擴張ならん)民間に其の半分を出しても四萬五千噸です、一方民間の製鐵業を見ますと川崎の日本鋼管は管と棒とを合せて、昨今一ヶ月二千噸以上の製産ですが擴張工事成分の曉はヨリ以上出來ます。又東京で三井系統の目論んで居るスプリング會社は目下工場建築中ですが、是亦八月頃から一ヶ月千二三百噸の製産を見るに至るでしやう。

尙ほ釜石の製鐵所は八月頃擴張工事が完成したら一ヶ月二千噸は充分に出來ます。私共の主人が發起した大阪製鐵も八月から製鐵に着手しますが此の全能力は一ヶ月千二百噸です。こんな有様ですから九月以後の内地の需要は差當り之で充分だらうと思はれますと、會心の笑を湛へる。

そこで記者は九月以後内地に於て、製鐵所と民間の會社

を合せ毎月一萬噸内外の鐵が出るやうになつたら、現在の仕入品と英米から到着する註文品とで内地は鐵の過剩を來しはしないでせうかと質問すると、西岡氏は其の見込が鐵の前途を下する肝腎要な點で樂觀も悲觀も其處で岐れるのです、私共の意見としては決して樂觀は出來ませぬが、さりとて悲觀の必要もありませんと思ひます。

勿論此の間思惑で意外の苦境に陥つて居る人もありますが、大局から打算したら縱令現在の價は維持せずとも相當の値頃で推し移つて行くでせう。成程平和といふ聲は一時下落の形勢を作るかも知れませんが、一方事業の勃興といふ事も平和の後でありますから、旁々前途は左程の悲觀でもありませんまい。其前途よりも先づ當面に起つてゐる鐵屋の苦痛がありますと、話頭一轉。

鐵商の當面の苦痛といふのは近々米國から到着すべき鐵材の處分である。此の鐵材は今年の一、二月頃米國に註文したもので大概運賃まで見込んで、一噸二百三十五圓見當で買込んだ。處が現在の我が鐵相場は一噸二百十五圓内外であるから噸當り二十圓の損失である。

それだけなら未だ宜いとして運の悪いことには此の註文品の九分通りは、安い丸物である。丸物の現在市價は一噸百九十五圓であるが金融の關係から、到着早々に賣り抜けねばならぬ註文主も少くない、是等は仲間に引取つて是非とも金策をせねばならぬ。仲間での賣買と來ると時價より

一割か若くは五分位の値引きをせねばならぬ次第。

ソウなつたら一噸を二百三十五圓で買つたものを、百六十圓位で手放すのであるから七十五圓の損である、千噸の思惑をした人は七萬五千圓の損をする勘定である。思惑の危険なことは鐵に限らぬのであるが中にも鐵は危険である要するに鐵商は最も浮沈が激烈ださうな。

西岡氏は更に談を進めて、注文してある鐵の分量は明白と判り兼ますが先づ三萬噸ありませう、そして困つてゐる向は東京の方が多いやうです。お剩りに東京には高値で買つた停留品が市場に多いですから、此の頃の値下りでは兩方から責められるやうなものですと言ふ。

堅い鐵を扱ふ商賣の危険な駆引の内容は聽けば聽くほど興味がある。米國から前述の品が到着したら、輸入は一寸打ち切りといふ有様で、其の後は内地製の鐵で需給を補ふやうになります。尙ほ需要の前途に對して、悲觀する必要のないことは前にも申しましたが唯だ鐵屋としては目先の動搖に對する各銀行の手心次第で、運命を決せられるのが怖いのですと爽やかに説き立てる。

西岡氏の談は戰亂發生當時から、最近に至るまでの鐵價の騰落から取引状態等に及んだ。戰亂發生前即ち一昨年の五六月頃は世界の鐵は未曾有の安價で、驚くなかれ一噸六十圓位でした。其の頃にウンと買ひ集めて置いたなら今頃は仕様のないやうに儲けたかも知れませんが、當時は經濟

界の不振の絶頂であつたから、鐵に巨額の放資をする者も少かつたのです。

私共では當時獨逸に注文して約定も出來、一部は既に船に積込んで輸送の途中にあつたものもありましたが、八月に戰爭が始まると共に約定品は無論解約、輸送の途中にあつた品は船と運命を共にしたり中立國に抑留されたり致しました。此の抑留の分には當方から船を出して積取りもしたが充分な目的を達することは出來ませんでした、と談は佳境に入る。

大正三年の八月三日獨佛開戦と同時に六十圓臺の鐵は百十圓迄暴騰しました。ソラと云ふので内地の市場では盛に思惑が始まつて鐵屋仲間は其の引張合ひに随分苦心したものです。處が其の高値も二十日間位續いたばかりで漸落の氣配を示し同年十二月の始めには八十圓臺に落込んで來ました。そこで銀行家は警戒する戰爭の前途は不明といふので思惑連は何れも恟々もので年を越しましたが、二月頃から氣配も立直つて參りました。

と語りながら西岡氏は昨年につける鐵の高低表を記者の前に置いて、日銀支店に毎月報告しました丸物の價格表ですが其の高低の如何に激しかつたかは是れて充分分りますと言ふ、即ち左の通り

大正四年一月

丸物一噸

九十圓

同 三月

同

百三圓

同	四月	同	百廿五圓
同	五日	同	百廿四圓
同	六月	同	百廿一圓五十錢
同	七月	同	百廿三圓五十錢
同	八月	同	百廿九圓
同	九月	同	百四十圓
同	十月	同	百五十五圓
同	同十二月(中旬)	同	百七十五圓
同	大正五年一月	同	三百圓
同	二月	同	二百七十八圓
同	四月	同	二百四十五圓
同	五月	同	二百廿六圓
同	同六月(廿二日)	同	百九十五圓

さて昨年の三四月頃から騰貴の形勢となつた處が鐵屋は大に活動を始めて市内の在庫品は申すに及ばず地方の品まで買廻る者が續々現はれました。十月になると米國のツラストが鐵の賣止めを發表したので、其の聲に吃驚して十一月頃から鐵材不足の聲が高まりました。之と同時に供給力の不備を叫ぶ者も現はれる又軍需品の注文がドシ／＼舞ひ込むといふ騒ぎで、十二月の中頃には遂に三百七十五圓といふ、空前の高値を示すに至つたのですと、微に入り細を穿つ。

更に轉じて昔の鐵商と今の鐵商とを比較する。昔の鐵商は割合に利益があり又値段の高低も少かつたので、最も安全な商賣として居たのですが日清戦争後から全く反對になつて薄利な上に恐しく高低が激しくなつたのです。先づ平時で見ますと問屋の利益は三分か五分でお剩けに今申す通

り始終高低があるのですから自然と思惑もせねばならぬのです。

大阪の商人は昔から、何品に限らず賣込んで置いて六十日とか九十日とかの期限の後に勘定をしたもので鐵の取引も同様の方法でやつて居ました。處が鐵といふものは外國に注文して、其の品が着くと倉庫に入れて置くのですから假りに一ヶ月に五十萬圓の商賣をする店なら、賣込品五十萬圓、在庫品に五十萬圓、流動資本に五十萬圓、都合百五十萬圓の金が必要なのですが、と多々益々説く。

取引額が巨きくなりますと金利の關係からドウしても回収を急ぎ立てねばならぬのですが、それでも先づ四十日勘定で中には六十日勘定もあります、斯んな有様で巨額の資本を、案外長くねかして置きますから、利益も自然と薄くなるのです。又註文品が註文主の手許に到着までには普通七ヶ月を要します、それから需要者の手に渡つて、金を受取る迄を二ヶ月としますと、九ヶ月目の終りてないと回収が出来ないので、此の長い期間に於る價格の高低は全く何時と計られませぬ。ですから止むを得ず思惑賣買を行つて、其の利益で遣繰をするといふ有様ですと、鐵屋の商賣の困難なことを、掌を指す如く語られる。

然し愈々九月頃から内地産の鐵で間に合ふやうになりますと、需要者は直接製造元から供給を仰ぐやうになりますから、從來の問屋の仕事は、漸次一變せねばなりません

此の點から見ますと、製鐵業の盛になつたことは國家の爲めには慶ぶべき事でありますが、問屋としては商賣が自然閑散になりますから餘り面白くもありません。

そこで鐵屋は此際に、何處かに活路を見出さねばなりません私共の考へるのに、日本内地で行る鐵材の製造はドウしても製産費が高くかゝるから、戦後に於て鐵材類を海外から輸入しても引合ふかと思はれます、そして内地の供給に充て又内地で過剰となつたものは、支那や南洋方面へ輸出してもよいと思ひます同方面から註文が無いこともあります。

處が心配なのは戦後は必ず鐵の輸入税金を引上げるやうになるでしやう然し特殊の材料はソウいふ譯には行きませまいが……何れにしても關稅の改正といふことは最も重大な問題と思ひます。云々

●内國金物商況

▲銅 過般低落の真相として傳へらるゝ所のものを見るに、米國の産銅額増加と船腹の供給容易となりしに加へて、交戰國政府は軍需品買入中絶を公言せしに因れるが如し、然れども事實は各國政府共に軍需品の補充買を要せしにより、相場は低落に當りて又々先物の買付をなし、軍需銅の需要は決してかく減少せるものにあらざること明瞭となり、且一時の安値に手持筋の賣惜みの爲、在荷の拂底等

に基くが如し、内地の相場に於いては、二十八日の昂騰につれて五十錢乃至一圓高を唱へ二十九日の大奔騰につれて二三圓方騰貴せしが、二十二日の如き、東京砲兵工廠の入札に、百斤六十五圓の安値を示し、前途の不況に膽を冷やさしめたものなるか、爾來漸騰に次くに暴騰起り、僅かに旬日にして現物先物共に百磅臺を突破して、八月の初めには現物百十一磅五志、先物百九磅五志、電氣銅百二十五磅を報じて居る、即ち其變動の重なるものを記せば次の如くである。

日	現物	先物	電氣銅
二十一日	九〇、〇五、〇	八八、〇五、〇	一一一、〇〇、〇
二十四日	九三、一〇、〇	九一、〇五、〇	一一二、〇〇、〇
二十八日	一〇五、一〇、〇	九九、一〇、〇	一一三、〇〇、〇
二十九日	一一一、〇五、〇	一〇八、〇五、〇	一一四、〇〇、〇
一日	一一一、〇五、〇	一〇九、〇五、〇	一一五、〇〇、〇
四日	一〇六、一〇、〇	一一三、一〇、〇	一一五、〇〇、〇
八日	一〇六、一〇、〇	一〇三、一〇、〇	一一四、〇〇、〇
十二日	一一一、一〇、〇	一一二、〇〇、〇	一一六、〇〇、〇
十六日	一一五、〇〇、〇	一一〇、〇〇、〇	一一六、〇〇、〇

最近に至り大阪某會社へ紐育よりの電報に依れば、英國政府は紐育市場に於て本年十月以降一箇年間に亘りて受渡さる可き、英國軍需電氣銅十萬噸乃至廿五萬噸及佛國軍需電氣銅四萬噸を、倫敦着一噸に付九十九磅の價格にて買付けんとの商談を提出したるに對し、米國電氣銅生産家側は百十二磅の價格ならば直に全額の商談に應ぜんと申出で、

双方の指値に十三磅の差を生じ居るも引續き交渉を進めつゝあれは近く値段折合ひて商談成立を見るに至るへし、尙英國政府は右の買付註文以外に露國軍需電氣銅約三萬噸内外の買付註文をも近く紐育市場にて發表すべき形勢なり、扱て英國政府は去る五月以來軍需銅の大口買付けを中止し居たるにより、早晚大規模の買付けを爲すべしとは一般の期待する所なりしか、愈々一般の期待か事實となりて現はれたる次第にして、倫敦銅相場か此處數日來急に奔騰を告げたるは亦此事情より來れる結果なるへし、又英國政府か前記の如く佛國軍需銅以外に露國軍需銅をも併せて買付けんとする形勢なるは、英露兩國の軍需品供給協定の新たに成立したるを裏書きせる次第にて、本邦に於ける銅關係業者の特に注目すべき事なり。

▲亞鉛 は過般來倫敦市場の好調を喚起せられたるに伴ひ内地市場も先頃底を入れて以來上進的歩調に代り一二圓の高値を呼び茲許引續き良好なる氣配裡に推移し居れり。

▲鉛は 先般來安見越にて先物契約を一般に怠りたる爲め昨今に至り却つて市場品拂底を告げ殊に關西方面に於ける安値品買占めの運動さへ弗々起り來り東京方面の在荷案外少量なること發見せられ加ふるに浦鹽方面へ輸送せらるゝもの少額乍ら間々見受けらるゝ風情を呈し來りたる爲め人氣引返し茲許一舉に濠洲品を初め各品を通じて百斤に付き一圓高を報するに至れり而して先行は尙良好なる商情を

迎る可く觀測せらる。

▲アンチモニー は小口ながら買物の加はりて氣配良好を呈し殊に兩品共產地高を報し居れば前途は幾分の高値に突進するならんと觀測せらる。

▲錫 は尙新規入津品の高値なる爲め依然高値保合の姿なり。

●鐵 商 況

去月以來引續き漸落を重ねつゝありし折柄、米國鐵材夥多輸入せられしより氣配一層軟弱に陥り、七月上旬より下旬に捲り激落を來せしため米國市場の値段と比較し非常の割安値段を現出せし結果、丸鐵類の一部及板鐵類の一部に捲り思惑買現はれ相當に躍進せしより俄然氣配一變七月下旬より八月上旬に掛け一躍二割乃至五割方暴騰せり。

賣行模様は七月中旬頃迄は至て閑散を極めたりしが、氣配一變と同時に實地需用者も相當に買進したれば相應の荷動ありたり。

	七月中旬	同下旬	八月上旬
棒鐵一貫目に付	五、六〇〇	六、八〇〇	七、〇〇〇
板鐵	六、八〇〇	八、〇〇〇	八、三〇〇
丸釘一樽に付	一八、〇〇〇	一八、〇〇〇	一八、五〇〇

以上

最近入電左の如し

七月二十日	米國鋼板	4' × 6' G17 G28 組合	シ、アイ	一〇二、五〇
"	"	G30 十三入半	エフ、横濱	一〇八、五〇
七月卅一日	米國九鐵	4' 8"	シ、アイ	一一五、五〇
八月三日	米國アングル	並吋	エフ、横濱	九二、九五
八月四日	薄鋼板	G30 十三枚半	"	一〇八、五〇
"	"	G17 G28 組合	"	九七、七〇
八月九日	鋼板	4' × 8' × 1/8"	"	一〇二、〇〇
八月十一日	舟板	1/4" 以上	"	一〇〇、〇〇

以上

概して昨年末異常の high 値を現はせし結果其後輸入激増し、本年六月末までに別表統計欄の示す如く殆んど昨年同期に比較し倍額に上りたるに、内地製鐵高も増加し一方需用は之れと正反對に減少したるを以て暴落せるものなりとす、然し四月中旬迄は外國相場に比して未だ均衡を失し居らざりしに、四五月に亘つての丸棒の大輸入は丸棒其のものは固より其他の各種鐵材共に之か餘波を蒙りて大暴落を演じ、本國相場は頑として動かさるに拘らず低落其度を知らず、益々逆鞘を告げエキストラ物の却て並物よりも安値に陥りたるが如きは、如何に需給關係に基因するとはいへ一の大變態たるを失はさるべく、丸棒の如きは投物の所在に現はれて七月中旬に至つては遂に四圓二三錢てふ極端なる取引も運ばれて、市場の人氣全く銷沈し商談聲を絶

つ悲境に陥りたり、然るに最近に至り市場漸く一轉し丸棒の五圓四五錢に引返したるを始めとし各鐵材の上向かんとする風情の見ゆるは外國相場に比し餘り懸隔を失し居るを以て、茲に手持筋の態度一變し賣人は見送つて徐に機の熟するを待たんとするの念を生じたるが爲にして、市場にても思惑買の加つて商談は豫想外の高値に運ばれたるが如きは以て其間の消息を窺ふに足る。而して向後の輸入は四五月の大輸入品の多くは十八弗割増金付きを除きてはエー、エス賣止後の約定に係るものにて今の我市場にては到底大不引合を免れざる所なるが、約定品の大半は既に入荷し盡したるのみならず向後の新規輸入の逐月激減するを豫想せらるる所以は、我市場の不勢なる結果二月以降は新規注文を發したる向は殆ど皆無の状態なるが爲にて、昨今の市況を眺めては全然新注文を進むるの餘地なかるべし。

●鐵材再輸出

内地の鐵材相場は今春來反動的下落を告げ昨今多少回復模様を呈せりと雖も、外國相場に比し割安なる故前月來印度南洋方面より買注文を發し來り、弗々商談成立せるが最近内地の鐵は約一千噸の再輸出行はれたりと。

●銑鐵

市場はクリーブランド及レットカーの如き輸入品は昨今

殆ど其影を失ひたるも之に代るべき印度及漢陽方面より輸入さるゝもの甚だ増加したる爲め先頃來大阪市場を初め各地の成行は漸次軟弱を傳へ居れり、然し東京方面は印度及漢陽銑の影響を受くること比較的僅少にて主として釜石銑により市場の氣配を支配さるゝ爲め關西方面より稍氣強き成行也。

●印度銑鐵

印度銑鐵は歐洲開戦以前より我國へ弗々輸入し來りしか開戦當時には船舶不足なりし爲め大正三年度には三萬一千餘噸の輸入に止まりしに四年に入るや内地鐵物不足の爲に輸入急増し總計三萬八千噸に増加せり然るに本年に入るや益増加の勢ひを呈し既に本年六月までにて約二萬噸近くの輸入を見るに至り更に前途尙輸入額増加すへき形勢なり而して印度にてはカルカッタ附近に製鐵所二ヶ所あり一は富豪ターター氏の獨力經營に係り資本金二千三百七十七萬五千留比にて年額銑鐵十二萬噸鋼材七萬噸を製出し他はベンガルアイロン會社の經營にて資本金五十萬磅一年銑鐵七萬噸餘を製造しつゝあり。

●英國鉞力輸出禁止

英の鉞力禁輸に就ては我國に如何なる影響ありやといふに、昨今英本國相場は一箱三十五六圓米國三十二圓なるに對し内地は二十五六圓を唱へ居れる有様なるは偏に需要減退の反映と見るべく、若し需要にして喚起せんか元來輸入

品たる鉞力の市價は當然高まるへき運命を有するも、既に英米の相場は一箱四五圓の開きを有する上近來米國は船腹緩和し太平洋航路運賃の如きも、本年三四月頃は一封度に付一弗七十五仙なりしもの目下九十五仙に下落せるのみならず、オーバールランド經由に依る時は英國に比し時日も早き爲め當然米國品を買付くへきにより、英國の禁輸は直に大なる影響を見ることなかるへし、現に二十四日神戸に入港せるポリヘマス號には鉞力一萬十二箱を搭載せるか、コハ一箱二十九圓の契約品にて既約品は之にて略一掃の由なるが内地在荷は右着荷を合せ大阪約三萬東京一萬五千合計四萬五千箱なるも、一ヶ年の消費額は約三十三萬五千箱（二萬五千乃至七千噸）なれば早晚價格騰貴は免れざるへく、又米國に於ても英國禁輸の報を入れなは當然市價を引締むるに至るへし、併し前述の如く目下需要減退の折柄なれば急速に騰貴するが如きとは先づなかるべきか。

●八幡製鐵所鐵材拂下

製鐵所は既報の如く去る三十日を以て在荷鐵材の第二回目拂下を行ひ、棒鐵及鋌鐵約七千噸内外を全國に於ける直接需要家及び製鐵所筋に對し各希望高に應じて賣渡したり其價格は第一回の拂下値段と略ぼ同様にして即ち一噸平均約二百圓内外の由なり、尙ほ棒鐵類も同時に拂下げある豫定なりしが鐵材一般市價が輓近漸く恢復の歩調を示しつゝ

あるが故に、之れが拂下げは暫く延期し市場の形勢を見て更に改めて拂下ぐることとなりたる由。

●米國金物商況——七月上旬

米國金物市場は今や歐洲戰亂の影響を受け空前の活躍を續けつゝ、本年下半期を迎へたり、一般の商狀を察するに内地の需要比較的閑散なるに不拘輸出向商談頻々として現はれ近く鋼鐵組合が引受けたる百萬屯の砲彈用鋼材並に明年七月渡露國向ロール二十萬屯を始めベセマー用銑鐵、各種鋼片チユプレート等の輸出約定成立したるもの莫大の數量に上れり、而して生産者は既に注文の多量を抱込み短期受渡物の如きに對しては一瞥だに與へざる状態なるに不拘一般需要者は尙先安を見越し需要必迫のものを除き買付躊躇の姿なり、而してシート、バー、ワイヤ製品の如きは未だ値段に影響を與へざるも市場何となく強硬にして殊に條鐵は民間工業用として最近三萬五千屯の大手合せありたり、鋼板は賃金比較的高率なる爲め乎、人氣甚だ軟弱なりピッツバーク地方にては最近ベセマー鹽基性銑及ベセマー並に平爐半製品其他屑鐵の大々的取引行はれたる爲め人氣頓に引立ち就中鋼片の如きは全部外國へ輸出せられ市況未曾有の活況を呈し居れり、然るに七八の兩月は所謂夏期休業期に會せることとて茲暫く夏枯の状態に入り、九月に至り捲土重來一層の活躍を見る可く期待せらる、フィラデルフヒ

ア地方に於ても獨立祭の爲め休業者多く概して内地向靜穩輸出向活況を呈し居れり、今銑鐵製造高を見るに五月末熔鑪三二一基にして一日の生産高十萬八千四百屯なりしも六月末に於ては一般休業者多かりし爲め三二三基に増加したるに不拘一日の出銑高十萬七千屯に下り即ち一日約一千四百屯の減退を見たり。

(一)銑鐵

ピッツバーク地方に於てはベセマー製鋼用銑鐵に對する輸出約定成立するもの多く伊太利に向て二萬五千屯の約定締結せられたる爲め地方の人氣引立ち加ふるに内地向需要亦弗々入込み市況強氣一方なりポーツマス製鋼會社は本年十二月渡鹽基性銑鐵を工場渡十八弗強にて買付又ベセマー銑に對する引合盛にして市價沸騰の形勢を現はし既にベシツクの如き各出産者に於て先高を豫想し十八弗見當の申込に對ては謝絶の態度に出て居れり、クリブランド地方にては職工同盟罷業の餘波を受け勞力の欠乏に伴ひ生産著しく減少したるも未だ約定品には障害を來さず市況一般閑散にして價格も第二號銑十八弗半見當に折合ひ居れり、紐育方面にても同しく輸出隆盛にして或製造業者は前週伊太利に向つてベセマー銑鐵七千五百屯の輸出を試み更に同國よりは木炭銑鐵一萬屯の照會に接せるも含燐量の制限嚴しく米國製鐵業者に於ても持て餘し居れり、現價ピッツバーク渡ベセマー二十一弗、ベシツク十八弗、二號鑄物十八

弗半、グレイフォーチ十八弗、亦クリーブランド渡ベセマ
ー二十一弗九五、ベシーシツク十八弗九五、二號鑄物十九弗、
グレイフォーチ十八弗、見當なり。

(二) ビレット及シートバー、

ピッツバーグ地方に於てはベセマーもの及オープンハ
スもの共に鋼片の輸出せらるゝもの益々多量に上り、既に
四萬屯乃至五萬屯の約定成立し需要激増の結果價格益々引
締り人氣頓に引立ちたり、内地需要者にしてベセマー或は
平爐鋼片に對し四十弗にて買付を試み拒絶せられたるもの
あり目下最低四十二弗乃至四十五弗を唱へ居れり、最近平
爐シートバー千二百屯賣手工場渡四十二弗にて契約締結せ
られ亦ベセマー鋼片一萬五千屯乃至二萬屯現に輸出向商談
中に屬するものあり近く成立を見るならん。

(三) 鋼板

カーネギー鋼鐵會社はクリブランドに於けるハンナ商會
に對し鋼板一萬屯の供給約定を完結したり、ピッツバーグ
方面にては貨車用鋼板商狀沈靜にして^{1/4}もの以上現今相場
年末渡二弗七五を唱へらるフヒラデルフヒア地方にては内
外共市況極めて順調にして殊に輸出用として數千屯現に引
合中に屬するものあり、サンフランシスコ方面にては鋼板
の集散活潑にして造船業亦殷盛を極め居れり、最近新船數
隻建造注文現はれたるも各造船所に於ては先約定に追はれ
謝絶したりと云ふタンク、パイプ用としても相當賣行あり、

時價四弗七五見當なり、シカゴ方面に於ても船舶用鋼板の
一大注文に接したるも品薄のため之に應ずるものなく單に
少許のベセマー鋼板の積出を見たるに過ぎず、當地方相場
は三弗強直積三弗六八九——四弗見當なり。

(四) 軌條

本品は重軌條輕軌條共に市況閑散なり殊に輕軌條の如き
は市價低落の結果生産手控となり却て再製工場へ注文を發
するもの尠からずピッツバーグ地方にては二五封度乃至四
五封度もの四十七弗、十六——二〇封度もの四十八弗亦標
準ベセマー物一弗四七、平爐もの一弗五六強なり、シカゴ
地方に於ては買付頻繁として現はれ内地向輸出向合せて軌
條三萬五千屯取引せられ同九千屯は佛國へ送られたりと云
ふ、時價重軌條三十三弗——三十五弗、輕軌條四十弗見當
なり。

(五) 亞鉛引鋼板

原料亞鉛相場の低落に伴ひ本品市價漸落の傾向を現はし
目下二十八番もの工場渡四弗五〇を唱へられ且つ薄物の如
きは殆んど引合に接せず、サンフランシスコ地方に於ても
市況不活潑なり然るにシカゴ地方にては商狀活氣を呈し競
争激甚を極め居れり、時價四弗五〇——四弗六〇見當を上
下す。

(六) 條鋼類

ピッツバーグ地方にては明年上半期工場渡條鋼二弗五〇

仙にて調談ありたり條鐵氣配軟弱にして市價安しシカゴ地方にては一般に商狀活氣を呈し内地向輸出向合せて取引高三萬五千屯に上り、各工場股賑を極め居れり、市價條鐵、チカゴ工場渡二弗三五仙軟條鋼二弗六九仙なり。

(七) 鐵合金類

イ、滿俺鐵、供給比較的潤澤となりため市價漸次下押となり、ピッツバーグに於ては内地品八十%ものにして直積二〇〇弗——二二五弗年末積一七五弗——二〇〇弗見當なり、英國品も殆んど同一市價を保ち居るも受渡期限に保證を與へず、サンフランシスコにても需要者何れも先安を見込み買付皆無の姿なり、ニューヨーク方面亦同一狀態を持續す。

ロ、鏡鐵——滿俺鐵と同じく商狀不活潑にしてピッツバーグ渡一八%——二二%もの四五弗——五〇弗に取扱はれ居れり。

ハ、硅素鐵、——ピッツバーグ渡五十%もの八五弗を唱へサンフランシスコに於ては品薄を訴へ市況稍引締れり紐育にても一般の狀況強硬にして漸騰の形勢にあり。

(八) 屑鐵

ピッツバーグに於ては大手筋の買付現れ鋼屑一級品一六弗十六弗五〇仙の範圍にて七萬五千屯乃至十萬屯の賣買行はれたるを始めとし古車輪の需要亦激増したるに不拘クリーブランド、紐育方面に於ては一般に市場靜穩にしてクリ

ーブランドに於ては厚物一弗餘下向となり十四弗五〇仙を保ち紐育に於ては同じく十一弗七五——十二弗見當に居据れり之れ畢竟屑鐵の產出需要に超過したる結果ならん乎。

●英國金物商況——六月下旬

英國銑鐵市場は品拂底のため一般價格の不調和を來し軍器當路者に對し銑鐵價格改正の請願をなすもの續出しつゝあり即ノウザムプトンシヤ及ダービーシヤ銑鐵業者は六月十五日倫敦に會合し販賣價格の引上を請願せり、スタッフオードシヤ製造業者も最近同一の願書を提出し其結果を待てり、小資本家は此壓迫に堪へず事業を中止するもの尠からず、製鋼業者は銑鐵相場の改正を見たる上は更に鋼材價格の引上を請願する事に決せり。

(イ) 銑鐵

倫敦地方に於ては市況に變化なきも近時低燐銑鐵及特殊銑鐵に對する注文頻繁に入り込む爲め製造者に於ても、特別の努力をなしつゝあり、ランカシャー地方に於ては基督休業日の爲め生産に従事するもの尠なしクリーブランド銑鐵は生産者に於て價格引上を豫想し約定品の外新規供給に應ずるものなく需要者は多大の困難に遭遇し居れり、ミッドルズブロー地方に於ては該銑鐵の取引せらるゝものは先物に限られ而し中立國は勿論同盟國へ對しても品拂底の爲め輸出絶無の姿なり、ヘマタイト市況亦手堅し、時價一二三志

半なり輸出向は一四〇志見當を唱へらるゝも手合せ行はれず北西海岸方面に於てはヘマタイト殊に低燐鐵に對する一般的の需要並に軍器材料としての要求益々増大し來り、而も原料の買付難と努力缺乏のため生産者は甚敷窮境に陥り其筋に於ても價格を引上げ救済の途を講ずるの外なかる可し時價特別低燐鐵一四〇志半特種銑鐵一三五志内外なりスコットランド地方に於てはヘマタイト銑鐵益必迫を告げ生産せらるゝや直に消費者に運はるゝの狀況なり。

(ロ) 鐵鋼半製品

英國に生産せらるゝビレットの大部分は政府用品として吸集せられ民間消費者に分配せらるゝもの極めて僅少なり、從て公定相場一〇磅七志六片なるに不拘十四磅以上に非れば供給に應ずるものなし、米國産ビレットは運賃漸落の傾向あるに不拘市場品拂底し今一四磅を唱へらる、ランカシャー地方亦同じ。

(ハ) 鐵鋼製品

條鋼、ワイヤー其他鋼製品は政府の需要に忙殺せられ各工場共民間の引合に應ずるものなく、バーミンハム地方に於ても引渡期日に於ける出來相場に非すんは供給に應ずるものなし、時價條鋼十三磅十志なり、シエフヒールドに於ては軍器用高速力鋼に對し多大の需要を惹起し、從て輸出の如き事實上禁止の狀態にあり、北西海岸地方に於ける市價は船舶用鋼板十一磅十志、ボイラープレート十二磅十

志、重軌條十磅十七志、輕軌條十二磅ビレット十二磅程度なり。

(ニ) 屑鐵

本品は各地を通し品潤澤のため市場極めて平穩なり其筋に於ても相場一定の議あるも等級區別困難なるため遷延し居れり、ミッドルズブローに於ける時價煉鐵厚物六磅五志——十志、鋼屑厚物一〇二志六片鋼切片五二志六片——五志見當なり、スコットランドに於ても供給者は多大の現物を擁し品捌きに苦しみ居れり。

(ホ) 亞鉛

米國市場の弱氣に驅られ英國に於ても市價漸落の兆を呈し今五〇磅見當に居据れり輸出向は尙二磅安を唱へらる。

(ヘ) 鐵合金

一、滿俺鐵——はクリーブランド渡時價内地向二五磅輸出向三〇磅なり。

一、フェロクロム——高度のものに對しては買付多數現はれたるため呼値一一五磅——一三五磅なるも低度のものに對しては引合皆無の姿なり。
一、フェロシリコン——市況活潑なり。

● 獨逸近狀

六月中旬

(一) 銑鐵シンデケート

六月六日開催せられたる銑鐵シンデケート總會の席上に

於て今銑鐵市場は内外需要激増の結果益々活況を呈し各高爐は全力を盡し操業中なりとの報告ありたり、而して來る七月中も現價を維持する事を決議せり五月中本シンヂケートの手に依り受渡を了りたる銑鐵數量は割當額の五五・六四％に當り四月中は三五・四八％に過ぎざりき。

(二)條鋼商況

六月九日に催されたる條鐵製造業者の會合に於て舊價格協定を再興する事且つ來る可き二ヶ月乃至三ヶ月間は平爐もの内地向價格は生産者工場渡一九〇馬克と定め之を超過するを得ざる事とせり、而してドイツチエ、ルクゼンブルグ工場をして輸出協會に入會を許可せるも内地需要に支障なからしめんか爲め四週間に亘る輸出約定をなすことを差止めたり。

(三)政府の支配下にある鋼鐵相場

近時鋼鐵相場の昂騰に對し六月八日國務大臣シードウ氏と鐵鋼業代表者との會見行はれ鋼鐵の現價に就き研究し尙戰時原料局に於ても引續き討議せらるゝ筈なりと云ふ。

(四)クルツプ工場の擴張

クルツプ工場はデツソーに於てベツカー大砲工場を三百萬馬克にて買收したりと云ふ。

(五)ラインランド、ウエストファール地方鋼鐵商況

當地方に於ては市價の騰貴も、既に終末に近き異變の發生せざる限り價格亦變動せざる可しと一般に觀測せられ居

り而して各工場は生産に忙しく政府は漸く市價調整に干渉し始めたり。原料品に對しては疾く此傾向ありしも鐵鋼製品、半製品に對しては市價の暴騰に依り始めて此傾向を生ずるに至れり、半製品は輸出絶對に行はれざるに不拘市場拂底にして去月鐵鋼業聯合會に於て決定せられたる市價を現今尙ほ維持するの狀態にあり即鋼塊一二七、五〇馬克ブルーム一二三二、五馬克ビレット一四二、五〇シートバー一四七、五なり煉鐵價格はリベットもの二一〇——二四〇、馬蹄鐵二二五馬克に上りポイラーチューブの需要亦盛にして工場は前途四、五ヶ月分の約定を擁き値段昇騰を續け居れり、建築用鋼板内地向き一九五——二〇五、ポイラープレート用二一五馬克アーマープレート用二一〇馬克見當なり、若し夫れ薄物に至つては未曾有の高値にして五^m/_m以下のもの三〇〇馬克にして一^m/_m以下のもの一施實に三五〇馬克を唱へ而も尙買付得るもの幾許もなき狀態にあり。



○相場表

銑鐵

(特記せるもの外は)
總て八月十三日調

二寸 四寸	二寸 八寸	三寸 四寸	三寸 八寸	三寸 八寸	一八分 寸分	一八分 寸分	一八分 寸分	一八分 寸分	一八分 寸分	一八分 寸分	一八分 寸分	一八分 寸分	一八分 寸分	一八分 寸分	一八分 寸分	一八分 寸分	一八分 寸分	一八分 寸分	一八分 寸分
七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇

新瑞西 鐵	東京 森岡	十貫目	商店	新瑞西 鐵	東京 森岡	十貫目	商店	新瑞西 鐵	東京 森岡	十貫目	商店	新瑞西 鐵	東京 森岡	十貫目	商店	新瑞西 鐵	東京 森岡	十貫目	商店	新瑞西 鐵	東京 森岡	十貫目	商店
四五〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇	四五〇〇〇

商
況

二寸 二寸	二寸 八寸	二寸 六寸	二寸 四寸	二寸 四寸	二寸 六寸	二寸 八寸	二寸 四寸	二寸 四寸	二寸 六寸	二寸 八寸	二寸 四寸	二寸 四寸	二寸 六寸	二寸 八寸	二寸 四寸	二寸 四寸	二寸 六寸	二寸 八寸	二寸 四寸	二寸 四寸	二寸 六寸	二寸 八寸	二寸 四寸	二寸 四寸
七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇	七五〇〇〇

八厘	五厘	三厘	二厘	二厘	二厘	二厘	二厘	二厘	二厘	二厘	二厘	二厘	二厘	二厘	二厘	二厘	二厘	二厘	二厘	二厘	二厘	二厘	二厘	二厘
八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	

十番	九番	八番	七番	六番	五番	四番	三番	二番	一番	十六貫目壹樽	一枚代	十番	九番	八番	七番	六番	五番	四番	三番	二番	一番	十貫目
八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇

廿五番	廿四番	廿三番	廿二番	廿一番	二十番	十九番	十八番	十七番	十六番	十五番	十四番	十三番	十二番	十一番	十番	九番	八番	七番	六番	五番	四番	三番	二番	一番
七〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	

八八七

鐵線

野崎商店

